

平成28年度全国学力・学習状況調査【調査結果】

－蓮田市の結果の概要について－

蓮田市教育委員会

本調査によって測定できるのは、学力の特定の一部分・一側面であり、全ての学力を表すものではありません。

このことを踏まえ、蓮田市の結果の概要についてお伝えします。

1 実施状況

- (1) 実施期日 平成28年4月19日(火)
- (2) 対象学年 小学校第6学年 中学校第3学年
- (3) 調査内容
- ア 教科に関する調査(国語、算数・数学)
 - 主として「知識」に関する問題(A)
 - 主として「活用」に関する問題(B)
 - イ 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

2 学力・学習状況調査結果

(1) 教科に関する調査

全体的傾向	<ul style="list-style-type: none"> ・ 28年度調査の本市の結果は、小学校6年では「国語」に若干の課題がある。「算数」では、全国、埼玉県の平均正答率を上回っている。中学校3年では、「国語」と「数学」の両方において、全国、埼玉県の平均正答率を上回っている。
-------	---

【蓮田市と全国・埼玉県との比較の概要】

小学校6年

(平均正答率 単位%)

	国 語		算 数	
	A(知識)	B(活用)	A(知識)	B(活用)
蓮田市	71.3	57.3	79.1	49.1
埼玉県	71.6	56.7	75.9	46.3
全 国	72.9	57.8	77.6	47.2

中学校3年

(平均正答率 単位%)

	国 語		数 学	
	A(知識)	B(活用)	A(知識)	B(活用)
蓮田市	77.4	70.1	63.3	48.1
埼玉県	74.9	65.6	60.3	43.2
全 国	75.6	66.5	62.2	44.1

【国語A（主として知識）】

学年・問題数・傾向	○：できていた内容	●：努力を要する内容
<p>小学校6年生 [問題数：15問]</p> <p>□ 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は下回っている。</p>	<p>○ 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む。</p> <p>○ 書き手の表現の仕方をよりよくするために助言する。</p> <p>○ 用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決める。</p>	<p>● 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く。</p> <p>● 目的や意図に応じて収集した情報を関係付けながら話し合う。</p> <p>● 平仮名で表記されたものをローマ字で書く。</p> <p>● ローマ字で表記されたものを正しく読む。</p>
<p>中学校3年生 [問題数：33問]</p> <p>□ 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は上回っている。</p>	<p>○ 伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く。</p> <p>○ 文脈に即して正しく漢字を書く。</p> <p>○ 文字の形や大きさ、配列に注意して書く。</p>	<p>● 文脈に即して漢字を正しく読む。</p> <p>● 語句の意味を理解し、文脈の中で正しく使う。</p>

【国語B（主として活用）】

学年・問題数・傾向	○：できていた内容	●：努力を要する内容
<p>小学校6年生 [問題数：10問]</p> <p>□ 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は若干下回っている。</p>	<p>○ 目的や意図に応じて、表を基に、自分の考えを書く。</p> <p>○ 目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫する。</p>	<p>● 目的に応じて質問したいことを整理する。</p> <p>● 話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問する。</p> <p>● 活動報告文において、課題に取り上げた効果を捉える。</p>
<p>中学校3年生 [問題数：9問]</p> <p>□ 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は大きく上回っている。</p>	<p>○ 目的に応じて必要な情報を読み取る。</p> <p>○ 文章の構成を捉える。</p> <p>○ 文章の展開に即して内容を理解する。</p> <p>○ 本文や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く。</p>	<p>● 文章の構成や表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを具体的に書く。</p>

【算数・数学A（主として知識）】

学年・問題数・傾向	○：できていた内容	●：努力を要する内容
<p>小学校6年生 [問題数：16問]</p> <p>□ 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は上回っている。</p>	<p>○ 末尾の位のそろっていない少数の加法の計算をすることができる。</p> <p>○ 数の大小関係を理解している。</p> <p>○ 三角形の底辺と高さの関係について理解している。</p>	<p>● 少数の除法の計算をすることができる。</p> <p>● 図形の構成要素に着目して、図形を構成することができる。</p>
<p>中学校3年生 [問題数：36問]</p> <p>□ 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は上回っている。</p>	<p>○ 簡単な一元一次方程式を解く。</p> <p>○ 対称移動した図形を書くことができる。</p> <p>○ 円錐の体積は、それと底辺が合同で高さが等しい円柱の体積の$\frac{1}{3}$であることを理解している。</p>	<p>● 垂線の作図の方法について理解している。</p> <p>● 資料を整理した表から最小値を読み取ることができる。</p>

【算数・数学B（主として活用）】

学年・問題数・傾向	○：できていた内容	●：努力を要する内容
<p>小学校6年生 [問題数：13問]</p> <p>□ 全国の平均正答率と比べて、蓮田市の平均正答率は若干上回っている。</p>	<p>○ ハードルの数とインターバルの数の関係を式に表し、4台目のハードルの位置を求めることができる。</p> <p>○ 単位量当たりの大きさを求めるために、ほかに必要な情報を判断し、特定することができる。</p>	<p>● 示された式の中の数値の意味を解釈し、それを記述できる。</p> <p>● 示された除法の式を並べてできた形と関連付け、角の大きさを基に、式の意味の説明を記述できる。</p>
<p>中学校3年生 [問題数：15問]</p> <p>□ 全国の平均正答率に比べ、蓮田市の平均正答率は上回っている。</p>	<p>○ 筋道を立てて考え、証明することができる。</p> <p>○ 与えられた情報から必要な情報を選択し、数学的に表現することができる。</p> <p>○ 問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる。</p>	<p>● 加えるべき条件を判断し、それが適している理由を説明することができる。</p> <p>● グラフの傾きを事象に即して解釈することができる。</p>

(2) 児童・生徒質問紙調査 (全国平均と比較して ○良好 △課題)

<p>小学校6年生 全体的傾向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な生活習慣の定着や、国語・算数に対する意識と、教科に関する調査の正答率の間に関連が見られる。 ○ 挑戦しようとする意識（難しいことでも、失敗を恐れないうで取り組む）を高める必要がある。また、国語の学習に苦手意識をもつ児童が多い。 ○ 望ましい生活習慣や学習習慣を、段階的・系統的に定着させることが大切であり、学校・家庭・地域社会の連携が今後の鍵である。
<p>具体的傾向 (質問紙の抜粋) 全国平均と比較して ○良好 △課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 朝食を毎日食べる。 ○ 毎日、同じくらいの時刻に起きたり、寝たりする。 △ 難しいことでも、失敗を恐れないうで挑戦する。 ○ 自分には、よいところがあると思う。 △ 友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意である。 ○ テレビゲーム・携帯電話やスマートフォンで通話やメールをする時間は、短い。 ○ 家の手伝いをする。 ○ 家で、自分で計画を立てて勉強し、復習している。 ○ 友達同士で話し合っ、て、学級の決まりなどを決めている。 ○ 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある。 ○ 学校のきまりを守っている。 ○ 人が困っているときは進んで助けている。 ○ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。 ○ 人の役に立つ人間になりたいと思っている。 △ 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。 △ 国語の勉強が好きで、授業の内容がよく分かる。 ○ 読書は好きである。 △ 算数の授業内容はよく分かる。
<p>中学校3年生 全体的傾向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学生児童と同様に、規則正しい生活習慣や学習習慣と、教科に関する調査の結果の間に大きな関連が認められる。 ○ 自己肯定感（自分には、よいところがある）、を高める必要がある。また、中学生も国語の学習に苦手意識をもつ生徒が多い。 ○ 系統的な生活習慣や学習習慣の定着を図る取組を始める必要があり、学校・家庭・地域社会の連携が大切である。

<p>具体的傾向</p> <p>全国平均と比較して</p> <p>○良好</p> <p>△課題</p>	<p>○毎日、同じくらいの時間に寝る。</p> <p>○難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦する。</p> <p>△自分には、よいところがあると思う。</p> <p>△友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意である。</p> <p>○テレビゲーム・携帯電話やスマートフォンで通話やメールをする時間は、短い。</p> <p>○家の人と学校での出来事について話をする。</p> <p>○家の手伝いをする。</p> <p>○家の方は、授業参観や運動会などの学校の行事に来る。</p> <p>○家で、計画を立てて勉強する。</p> <p>○家で、学校の授業の予習・復習をしている。</p> <p>○学校で友達と会うのは楽しいと思う。</p> <p>○学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある。</p> <p>○今住んでいる地域の行事に参加している。</p> <p>○地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がある。</p> <p>○人が困っているときは、進んで助ける。</p> <p>○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。</p> <p>○話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。</p> <p>△国語の勉強は好きで、授業の内容がよく分かる。</p> <p>○読書は好きである。</p> <p>○数学の勉強は好きで、授業の内容がよく分かる。</p> <p>○数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える。</p>
--	---

3 今後の予定

<p>市教育委員会</p>	<p>○市全体の児童生徒の実態を国や県の実施した様々な調査のデータから分析し、種々の相関関係から導かれる教育の方向性を定める。</p> <p>○年次研修に加え、臨時的任用教員研修・授業研究会や、2～4年経験者を対象とした若手教員研修・中堅職員育成講座を実施し、授業力の向上を図る。</p> <p>○特に課題の見られた点に対しては、指導主事の派遣を通して、重点的に授業改善の取組を支援していく。</p> <p>○算数・数学学力向上検討委員会は、今後も継続して、学力向上について取り組んでいく。</p>
----------------------	---

<p>各小・中学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○校長のリーダーシップのもと、自校の調査結果を分析・考察し、学校の教育活動や学習指導の改善に役立てる資料として活用していく。 ○授業中における学習規律を徹底するとともに、教科会や学年会を中心に学習指導法の工夫・改善を行い、子供たちに達成感を味わわせることができるような「ねらいがわかる授業」「思考力を育成する授業」を展開する。 ○学級指導や学級活動と連携させて、学力向上の推進を図る。 ○指導者を招いた授業研究会を積極的に行い、教師一人ひとりの指導技術の向上を図る。
<p>家庭・地域社会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭での過ごし方は、学力向上に大きな影響があることを理解し、わが子の生活習慣について改めて考えるとともに、その改善方法について、家庭でよく話し合う。 ○特に、携帯電話やスマートフォンの使い方、テレビやテレビゲームの時間等については、家庭のルールをつくるなどして、時間の過ごし方について家庭でよく話し合う ○わが子の学習面でのつまづきを把握するとともに、学校からのアドバイスをもとに、解決方法を家庭でよく話し合い、家庭学習に取り組んでいく。